

令和5年3月8日（水）に開催した令和4年度第12回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 選考による特任教員の採用について

ア 趣旨

事務局から、今年度末で退職を迎える森副学長を選考により特任教員として採用し、引き続き副学長として大学の諸課題に取り組んでもらう旨の説明があった。

イ 主な意見・質問

特になし。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(2) 非常勤講師の委嘱について

ア 趣旨

事務局から、専任教員の退職による欠員及び現在の非常勤講師が委嘱終了のため、新たに5名を委嘱する旨の説明があった。

イ 主な意見・質問

・特任講師から非常勤講師に移る教員は沢山の科目を担当するが、非常勤講師に移るには何か理由があったのか。

→特任講師としての5年間の任期が終わったことと、多文化・多言語研究センターのスタッフは将来的には特任講師ではなく、専任教員で揃えたいという意向があり、特任講師としての継続はしないことになった。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 協議事項

(1) 公立大学法人静岡文化芸術大学 令和5年度 年度計画（案）について

(2) 公立大学法人静岡文化芸術大学 令和5年度 収支予算（案）について

ア 趣旨

役員会前に実施された第3回経営審議会にて、事務局より説明があったため、割愛。

イ 主な意見・質問

特になし。（第3回経営審議会にて協議済）

以上により議事を終了した。

3 報告事項

(1) 静岡文化芸術大学役職教員の選任について

事務局から、次年度からデザイン学部迫秀樹教授を教務部長補佐に選任する旨の報告があった。その後、横山理事長より選任理由等の説明があった。

(2) 知的財産権に関する取扱いについて

事務局から、問題提起されていた、教職員及び学生がデザイン制作や企画立案等に携わった場合の知的財産権の取扱いについて、現状と今後の取扱い方針について整理、検討した結果の報告があった。

以上